技能祭・ものづくりフェスタ2013

長崎の匠の技 観光通りに集結

長工の龍踊り列車、もっくん二号も参加

十一月十七日にベルナード観光通りにて開催された技能祭〈ものづくりフェスタ2013〉。一般の企業・団体や大学に交じって長工の「龍踊り列車」やロボット研究部も実演、参加。早速、秋深まる長崎の繁華街、観光通りに取材に行ってきました。

この〈ものづくりフェスタ2013〉は職人の技術、先端技術の展示・実演・体験を通して、ものづくりの楽しさを肌で感じ、ものづくりの必要性・重要性を一般の方々にも再認識していただきたいと毎年開かれているイベントです。

今年度はこのイベントに本校からロボット研究部と、機械システム科から課題研究で龍踊り列車を制作したP3の生徒が参加し、長工生の「技」を披露しました。

▶長工のエリア。奥にロボット研究部手前は龍踊り列車

▼いろいろなコーナーがありました

●ロクの龍踊り列車

P3の生徒が課題研究で製作したモーターで動く龍踊りを模した列車。四人ほど乗車できるつくり。この日は特に親子連れが多く訪れ、試乗しました。中には龍踊り列車が目的で立ち寄られ、真剣に機械を見学される方も。

リーダーの大上龍馬君は「小さい子がたくさん来て、楽しそうにしてくれて嬉しい」と感想を話してくれました。

車輪や車軸も一から製作。なかでもレールの製作は繋ぎ目の調整が難しく大変だったそうです。実際に龍踊り列車に試乗した子供たちからは「ドキドキした。おもしろかった」と笑顔で感想が返ってきました。

●ロボット研究部

ロボット研究部の出展は、ロボコンに出場した「木木木林β」とボール回収ロボット「もっくん二号」。もっくん二号は操縦体験ができて、通りかかる大人も子供も興味津々。

お客さんに操縦方法を説明していたC2永吉力君は「大会とは違って緊張しなかった。喜んでくれる子が多くてよかった」と話していました。

さらに段ボール製の赤いロボット「ダンボイ」でも参加。目立つ「赤」で周りの注目を集め、記念撮影もされていました。

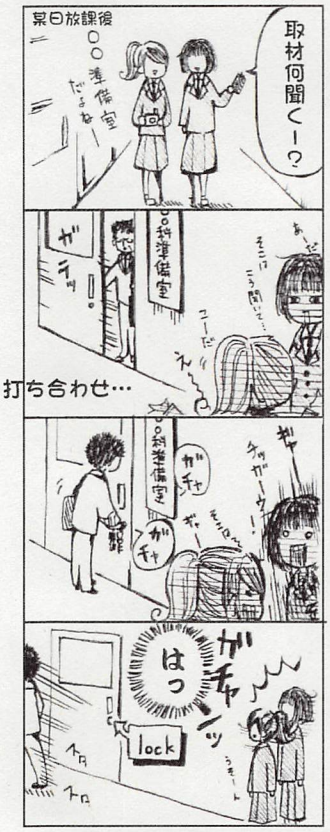
●事務局の方に伺う

観光通りには陶芸コーナーや盆栽コーナー、料理等々もあり、様々な分野の匠の技が披露された技能祭。

運営事務局長の市丸さんに伺うと「今年は例年よりも人出が多く、お客さんが会場にまんべんなく訪れ、反応も非常によかったです。楽しかったと子供たちが喜んでいました」とのこと。とても楽しいイベントでした。

気づいて！ てふ工生!!!

～タイミングが大事～



打ち合わせ…

よくある取材失敗。

工業高校らしい視点を持って

科学部、九州大会出場決定！

十一月二十九日、長崎大学で行われた科学研究発表会（県総合文化祭）。本校科学部が物理部門の「音速に関する研究」と化学部門の「ものづくりの為の銅鏡反応」で優秀賞を受賞しました。二月八・九日に開催される九州大会（鹿児島）への出場を決めました。

ひたすら地道な実験の繰返しだったという「音速の測定」。測定に使う器具はホームセンターで揃えるなどできるだけ身近なもので実験。化学班の「銅鏡反応」は木材などに銅を付着させ、銅の性質を持たせることができるか＝電気が流せるようになるかなどの実験。「ものづくり」に使える新たな素材につながるかもという工業高校ならではの研究です。

県大会で「他校の研究への熱心さに驚いた」という良君。物理班のM1谷口由樹君は九州大会に向けて「先輩たちから受け継いだ研究で頑張ります」と。顧問の先生方も「地道に頑張ってきた成果を発揮してほしい」（杉本先生）「工業高校らしい発表でぜひ上位入賞を」（門崎先生）と期待の言葉を述べられました。

▼手作りの音速計測装置

▲葉っぱ、スーパーボール…こんなものにも銅鏡反応!!

スポーツトピックス ☆新人戦編

県新人戦 団体優勝 さすがっすね！ フェンシング部

十一月十七日に諫早商業高校で行われた県新人大会。本校フェンシング部が団体優勝に輝きました。また個人戦ではC1鈴木君が一位、D2堤君が二位、C2吉岡君が三位。女子の部ではE2與賀田さんが三位という結果でした。団体メンバーのC1鈴木修平君にインタビューすると「個人の3冠達成、団体戦での優勝ができて良かった。九州新人大会でも勝ち抜いて全国大会出場をめざします」と。ちなみに部の勝負カラーは情熱の赤。九州大会での活躍を期待します。

県新人戦 準優勝 先輩に続け ソフトテニス部

十月二十日～二十二日佐世保市総合グラウンドで行われた県新人大会。キャプテンのM2林田君は「決勝戦で惨敗だった。学ぶことがあったので次に活かし、高総体で優勝をとれるように頑張る」と悔しい表情で取材に答えてくれました。

また、九州産業大学杯では団体優勝という輝かしい結果を残しました。飛躍し続けているテニス部。更なる活躍が楽しみです。

▲笑顔の部長（ソフトテニス）

県新人戦三位 あと一歩だ！ ハンドボール部

十一月十六日、佐世保体育文化館で行われたハンドボールの県新人大会。本校ハンドボール部が三位となりました。キャプテンのP2薬師寺克則君は「準決勝のとき、皆で気持ちを盛り上げたが負けてしまった。春季戦では必ず決勝戦に進出する」と気合の入ったコメント。顧問大渡先生は「よく頑張りましたが、目標はまだ達成できていません。長

丁寧な対応をありがとう▶（ハンドボール）

県新人戦 ベスト8 次はもっと上へ バドミントン部

十一月十六日～十八日にかけて行われたバドミントン県新人戦大会。地区新人戦で優勝していたバドミントン部。期待がかかるも結果はベスト8。この結果にキャプテンのC2中川育郎君は「地区新人戦と比べ、成績が良くなかった。今後の練習を修正する」と次に向けてコメント。「一つでも多く勝てるようにする」と気合いが入っていました。

地区で団体三位 実力つけます 卓球部

十月二十六日～二十七日に行われた卓球地区新人戦にて我が校卓球部が団体戦第三位に。また個人ダブルスではJ2村井・J1鳥巣ペアがベスト十六という成績を収めました。

十一月十六日～十七日に行われた県新人戦では全力を尽くしたものの団体戦ベスト16という結果。キャプテンJ2村井駿輝君は「今の実力では上にいけないことがよく分かった」と反省。それに加え「個人戦で上位入賞を目指す」と次の目標も語ってくれました。

シリーズ 溶接1 2 3！

九州大会②

選手を見ていると長崎県の代表ということが、県大会の時よりも肩に力を入れさせるようです。今まで九州大会までだった溶接の大会も今回から全国大会も開催されるとか…されないとか。普段通りの溶接ができれば優勝ですが果たして…。サポートは外から見守ります。今まで手伝ってきて最後は何もできないもどかしさ。ただ、二人を信じます。

溶接を終えた鉄板がズラリと並べられる机。選手やら関係者の方々が鉄板の前で批評会を開始。選手の表情が鉄板の出来を表します。（甲斐田）

▼溶接を終えた二人…

編集後記

取材、執筆、印刷、そして発行。去年も同じなのでしょう。毎日だからこそ毎日の小さな出来事に目を凝らそう。でもやっと今年最後の新聞も発行できたし、年末はぐ～たらしたい。

年代わり映えのしない。

冬を乗り越え、春には借りを返しましょう」と話されていました。ぜひ次は決勝進出を果たしてください。応援しています。